

災害・オウム対策調査特別委員会 報告資料

令和3年11月18日

報告事項件名	頁
1 アレフ（オウム真理教）対策について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 簡易公募型プロポーザルの実施結果について （足立区駅前滞留者対策推進協議会運営等支援業務委託）・・・・・・・・	3
3 令和3年度地区防災計画及びコミュニティタイムライン策定 の進捗について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4 防災普及啓発マグネットシートの全戸配布について・・・・・・・・	8

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年11月18日

件名	アレフ（オウム真理教）対策について
所管部課名	危機管理部 危機管理課
内容	<p>足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会の活動について、次のとおり報告する。</p> <p>1 住民協議会による抗議行動</p> <p>(1) 日時 令和3年11月13日（土）午後1時30分から</p> <p>(2) 場所 アレフ入谷施設前</p> <p>(3) 内容 抗議文の読み上げ及び投函</p> <p>(4) 参加者（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 住民協議会役員・ 足立区長・ 区議会議長・ 区議会オウム真理教対策議員連盟会長・ 東京都議会オウム真理教対策議員連盟会長 <p>(5) その他 当日は、少人数の参加者で十分な間隔をあけて並び、参加者はマスク着用、読み上げ者は拡声器を使用し飛沫防止に留意するなど、感染拡大防止対策をとりながら実施した。</p> <p>2 抗議行動について</p> <p>3月実施の抗議行動同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、デモ行進と住民集会は実施せず、デモ行進の代替として、アレフ入谷施設前での住民協議会役員による抗議文読み上げと投函を実施した。</p>
問題点・今後の方針	今後も住民協議会活動の支援を継続していく。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年11月18日

件名	簡易公募型プロポーザルの実施結果について（足立区駅前滞留者対策推進協議会運営等支援業務委託）								
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課								
内容	<p>簡易公募型プロポーザルの実施結果について、次のとおり報告する。</p> <p>1 業務名 足立区駅前滞留者対策推進協議会運営等支援業務委託</p> <p>2 実施内容 運営等支援業務を委託するため、簡易公募型プロポーザルを実施し、事業者を特定した。</p> <p>3 被特定事業者（契約候補事業者） (1) 名称：SOMPOリスクマネジメント株式会社 (2) 所在地：東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル (3) 提示額：5,000,000円（税込） ※ 参考：提案上限金額 5,000,000円（税込）</p> <p>4 選定過程・審査結果 (1) 選定過程</p> <table border="1" data-bbox="373 1339 1305 1731"> <thead> <tr> <th>日 程</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月20日(火)</td> <td>第1回 選定会議 募集要項の決定</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月30日(月)～ 9月17日(金)</td> <td>提案書募集期間 提案書提出事業者1者</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月13日(水)</td> <td>第2回 選定会議 プレゼンテーション及び質疑応答 提案書の特定の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 審査結果 「別紙 提案書特定結果」のとおり</p> <p>(3) 主な意見 協議会運営のほか、地域ルール（北千住ルール）改定や手順書策定支援など実効性のある対策の推進が担保できる。</p>	日 程	内 容	令和3年7月20日(火)	第1回 選定会議 募集要項の決定	令和3年8月30日(月)～ 9月17日(金)	提案書募集期間 提案書提出事業者1者	令和3年10月13日(水)	第2回 選定会議 プレゼンテーション及び質疑応答 提案書の特定の実施
日 程	内 容								
令和3年7月20日(火)	第1回 選定会議 募集要項の決定								
令和3年8月30日(月)～ 9月17日(金)	提案書募集期間 提案書提出事業者1者								
令和3年10月13日(水)	第2回 選定会議 プレゼンテーション及び質疑応答 提案書の特定の実施								

5 契約締結日（予定）

令和3年11月19日（金）

6 履行期間

令和4年3月31日（木）まで

7 今後のスケジュール（予定）

年 月		内 容			
令和3年	11月	地域ルール（北千住ルール）の改定素案、役割分担素案			
	12月	第1回 協議会 <ul style="list-style-type: none"> 新しい協議会のイメージ共有 役割分担の検討 			
令和4年	1月	地域ルール（北千住ルール）の改定素案、役割分担素案			
	1月	第2回 協議会 <ul style="list-style-type: none"> イメージトレーニング（ワークショップ）による災害時の活動による課題の把握 			
	2月	地域ルール（北千住ルール）実践のための行動指針(案)の作成	主要協議会員のヒアリング	手順書の作成支援	エリア防災計画修正
	3月				

今後の方針

本件プロポーザルにより契約候補事業者の専門的な支援を活かし、駅前滞留者対策における地域のルールの改定や活動における手順書等の作成を進めるとともに、より一層の対策の強化を図っていく。

別紙 提案書特定結果

	項番	調査項目		配点 ※総合計	評価 結果	
		分類	説明			
提案書評価	1	提案依頼の理解度	提案依頼の内容に対する網羅性	提案書における課題点・課題に対する網羅性、認識や理解	25	17
	2			提案書及び見積もり提示フォーマットに記載されている事項の網羅性	25	21
	3	管理体制	スケジュール調整及び進行管理の体制	全体スケジュール案 等	25	18
	4		業務における役割分担、調整体制	業務管理技術者、担当技術者 等	25	18
	5	駅前滞留者対策に関する現状分析	駅前滞留者対策に対する現状分析の的確性	駅前滞留者対策の現状分析手法、把握度	25	16
	6		足立区の地域特性や抱える課題を理解しているか	地域特性の理解度、課題の把握度	50	29
	7	提案内容の的確性	本事業実施の企画や提案は妥当か	主要検討事項の把握度	50	34
	8		提案内容は具体的で、実現可能か	提案内容の妥当性、具体性	75	47
	9	法令遵守	個人情報保護・インサイド情報に関する対策を講じているか	情報管理に対する体制、認証の取得 等	25	19
	10	コスト	本業務実施に見合った提案となっているか	業務実施に係るコストと提案との適正性、整合性	25	17
ヒアリング評価	11	説得力	提案内容に説得力があるか	提案書における説明能力、論理性	25	17
	12	資料作成能力	提案書が分かりやすいか、誤字脱字の有無	資料の正確性	25	18
	13	意欲・熱意・理解・協調性	提案事業者・担当者に熱意・意欲・理解・協調性があるか	提案事業者・担当者の意欲や熱意	25	16
	14			提案事業者・担当者の制度・業務課題に対する理解	25	16
	15			意見の交換	25	17
	16			冷静な議論	25	23
合 計				500	343	

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年11月18日

件名	令和3年度地区防災計画及びコミュニティタイムライン策定の進捗について
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、調整担当課
内容	<p>今年度進めている、「地区防災計画」新規策定や既計画の見直しの進捗、及び「コミュニティタイムライン」策定の進捗について、次のとおり報告する。</p> <p>1 地区防災計画策定の進捗</p> <p>以下の町会・自治会に対し、地区防災計画策定に伴うワークショップ等を実施し、策定支援を進めている（詳細は別紙のとおり）。</p> <p>(1) 令和3年度から新たに策定支援する団体（13団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域危険度が高い町会・自治会（10団体） イ コミュニティタイムライン策定に取り組んでいる町会（2団体） ウ 新規策定の要望があった町会（1団体） <p>(2) 令和2年度から継続して策定支援している団体（7団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域危険度が高い町会・自治会（6団体） イ 新規策定の要望があった町会（1団体） <p>(3) 既計画の見直し団体（12団体）</p> <p>平成29年度に策定した町会・自治会</p> <p>2 コミュニティタイムライン策定の進捗</p> <p>以下の地区に対し、コミュニティタイムライン策定に伴うワークショップ等を実施し、策定支援を進めている（詳細は別紙のとおり）。</p> <p>(1) 本木・関原地区（8団体）</p> <p>令和2年度から継続して策定支援している町会</p> <p>(2) 千住第五地区（10団体）</p> <p>令和3年度から新たに策定支援する町会・自治会</p>
問題点 今後の方針	<p>1 新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら、町会・自治会とも相談し、ワークショップ開催など柔軟に対応していく。</p> <p>2 策定したコミュニティタイムラインに、地区特性などを補記し、各町会・自治会の地区防災計画として、足立区地域防災計画に掲載するよう進めていく。</p> <p>3 コミュニティタイムライン策定にあたっては、足立区総合防災行政アドバイザー及び専門知識を有する事業者とともに、区職員も参加しながら進めていく。</p>

1 地区防災計画策定の進捗

(1) 令和3年度から新たに策定支援する団体(13団体)

ア 地域危険度が高い町会・自治会(10団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
1	青井二丁目町会	8月27日	10月19日	11月27日 (予定)	令和4年 1月以降
2	弘道一丁目町会				
3	五反野第2スカイハイツ自治会				
4	弘道一丁目自治会				
5	弘道一丁目第二自治会				
6	弘道第三団地自治会				
7	弘道一丁目第4自治会				
8	弘道一丁目第5自治会				
9	青井二丁目二ツ家町会	9月14日	10月15日	12月19日 (予定)	
10	都営青井二丁目住宅自治会				

イ コミュニティタイムライン策定に取り組んでいる町会(2団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
11	本木一丁目町会	今年度策定中の本木・関原地区コミュニティタイムラインの内容をもとに策定予定			
12	本木一丁目中町会				

ウ 新規策定の要望があった町会(1団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
13	千住桜木町町会	—	10月16日	12月5日 (予定)	令和4年 1月以降

(2) 令和2年度から継続して策定支援している団体(7団体)

ア 地域危険度が高い町会・自治会(6団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
1	興野町会	令和2年度 実施済み	令和2年度 実施済み	令和2年度 実施済み	調整中
2	千住仲町会				11月5日
3	八千代自治会				6月23日
4	都営梅田三丁目アパート自治会				調整中
5	西新井15部町会				書面開催
6	興野北町会				調整中

イ 新規策定の要望があった町会(1団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
7	佐野二丁目北町会	令和2年度 実施済み	令和2年度 実施済み	令和2年度 実施済み	書面開催

(3) 平成29年度に策定した計画の見直し団体(12団体)

町会・自治会名		ワークショップ日程	町会・自治会名		ワークショップ日程
1	千住中居町会	書面開催	7	長門北部自治会	調整中
2	千住龍田町町会	11月13日(予定)	8	長門西町会	
3	柳原東町会	12月14日(予定)	9	本木一丁目南町会	策定中の本木・関原 地区コミュニティ タイムラインの内 容をもとに見直し 予定
4	柳原西町会				
5	大谷田東自治会	調整中	10	関原二丁目南町会	
6	長門南部町会		11	中曽根町会	
			12	関原二丁目町会	

2 コミュニティタイムライン策定の進捗

(1) 本木・関原地区(8団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③	ワークショップ④
1	本木一丁目町会	令和2年度 実施済み	令和2年度 実施済み	10月10日	11月20日 (予定)	1月15日 (予定)
2	本木一丁目中町会					
3	本木一丁目南町会					
4	関原二丁目南町会					
5	関原三丁目東町会					
6	中曽根町会					
7	関原二丁目町会					
8	関原三丁目町会					

(2) 千住第五地区(10団体)

町会・自治会名		事前説明	ワークショップ①	ワークショップ②	ワークショップ③
1	千住大川町東町会	12月2日 (予定)			令和3年度末までに 実施予定
2	千住大川町西町会				
3	千住大川町南町会				
4	千住元町町会				
5	千住柳町々会				
6	千住寿町南町会				
7	千住寿町北町会				
8	都営千住元町団地 一・二号棟自治会				
9	都営千住元町団地 三・四号棟自治会				
10	北千住第二ダイヤモン マンション自治会				

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年11月18日

件名	防災普及啓発マグネットシートの全戸配布について									
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課									
内容	<p>台風最接近時等に防災無線が聞き取りづらい場合などに備え、最新の防災無線の聞き直しができる防災無線テレホン案内等を記載した防災普及啓発マグネットシート（下記参照）に一部追加等を加え、全戸配布することとしたので報告する。</p> <p>1 これまでの対応</p> <p>(1) 防災行政無線のデジタル化 平成29年度からデジタル化を進め令和3年3月に完了。 屋外拡声子局を141局から201局に増設。</p> <p>(2) テレドームの導入 令和2年6月より防災無線テレホン案内が同時に数千件以上対応可能。 テレドーム導入前後の比較</p> <table border="1" data-bbox="408 1070 1334 1391"> <thead> <tr> <th></th> <th>同時対応数</th> <th>音声放送</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入前</td> <td>30件</td> <td>アクセスごとに冒頭から順に聞くことができる。</td> </tr> <tr> <td>導入後</td> <td>数千件以上</td> <td>初めにアクセスした方は冒頭から、そのあとの方は、途中から聞くこととなる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 防災無線テレホン案内等を記載したマグネットシートの作成 防災無線テレホン案内等を記載したマグネットシートを作成し、令和3年7月に1万部作成。 令和3年10月25日現在、イベントなどで約7,000枚配布。</p> <p>2 作成枚数 40万枚 ※ 転入者には、転入の手続き時にお渡しする一式に同封する。</p> <p>3 作成経費（予定） 18,480千円 ※ マグネットシートの印刷にかかる経費については、令和3年度予算で生じた差金を流用することで対応する。</p>		同時対応数	音声放送	導入前	30件	アクセスごとに冒頭から順に聞くことができる。	導入後	数千件以上	初めにアクセスした方は冒頭から、そのあとの方は、途中から聞くこととなる。
	同時対応数	音声放送								
導入前	30件	アクセスごとに冒頭から順に聞くことができる。								
導入後	数千件以上	初めにアクセスした方は冒頭から、そのあとの方は、途中から聞くこととなる。								

4 配布方法・時期

現在、改定中のあだち洪水ハザードマップの配布時に同封する。
配布時期については調整中。

【参考】

今後の方針

災害時の情報収集手段について、区民に広く周知を行っていく。